

2017
姫路赤十字病院誌
VOL.41



HIMEJI
RED
CROSS
HOSPITAL



姫路赤十字病院の理念と基本方針

理 念

『わたしたちは、医の倫理と人道・博愛の赤十字精神に基づき、心のかよう安全で良質な医療を実践します。』

基本方針

1 患者中心の医療

患者の人権と意思を尊重し、患者とともにチーム医療を実践します。

2 災害医療の充実

国内外の災害救護活動に積極的に取り組みます。

3 地域との連携

高度専門医療・急性期医療・救急医療をとおして、地域完結型医療に貢献します。

4 優れた医療人の育成

教育・研修・研究を推進し、人間性豊かな医療人を育て、医療水準の向上に努めます。

5 魅力ある職場づくり

働きやすい環境、誇りある職場を創ります。

6 健全経営

健全経営を持続し、医療活動を通じて社会に貢献します。

2017年4月改訂



患者さんの権利と責務

患者さんの権利を尊重します。

- 1 安全で良質な医療を公平に受けることができます。
- 2 十分な説明と情報提供を受けることができます。
- 3 他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求めることができます。
- 4 自分の意思で、治療方針を自由に選択・決定することができます。
- 5 自己の診療情報の開示を求めることができます。
- 6 個人情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

患者さんにご家族の義務。

- 1 健康に関する情報を正確に提供してください。
- 2 診療内容を十分理解し、納得した上で医療を受けてください。
- 3 医療者ととともに安全確認に参加し、治療に協力してください。
- 4 病院のルールに従い、他の患者さんへ迷惑にならないように努める義務があります。
- 5 医療費の支払い請求を受けた時は、速やかに対応してください。

2017年4月改訂

巻 頭 言

初めての論文

副院長 奥 新 浩 晃

昭和54年岡山大学を卒業し直ぐに第一内科に入局しました。当時は今のような初期研修制度はなく、4、5年先輩の上級医がほとんどは1：1のつきっきりで数か月間しっかりと教えて下さり、そして「独立会」を迎えます。この先輩・後輩のことを独語でオーベン・ウンテンと呼び、一生の師弟関係になります。やがて自分もオーベンとなりウンテンの指導に当たります。これが大学病院での伝統的な研修システムであり、誠に実践的でとても懐かしく思い出されます。

20人近くの一緒に入局した同級生が「独立会」までは和気藹々と一緒に過ごしますが、「独立会」後は秋に赴任する病院がくじ引きで決まり、やがて1人欠け、2人欠けとなり心細さを覚えながらも、新生活に向かって身が引き締まります。自分は12月1日付で姫路赤十字病院が当たっていましたが、10月に入り重篤な急性肝炎の主治医になりました。急性腎不全を併発しICUへの寝泊まりとなりましたが人工透析を施行し救命することが出来ました。原因が解らないためスタッフの山田剛太郎先生から1週間毎に血清を冷凍庫にストックするようにとの指示がありました。赴任に際してここに入れていきますからと報告すると、「おう分かった」と言われ表情が和んだ感じがしてほっとしたことを覚えています。そして実際に12月赴任直後から白血病や脳出血など重症患者さんが次々と入院し担当となり帰宅は明け方近くがほとんどといった状況でした。

明けて昭和55年3月頃突然山田先生から電話がありびっくりしましたが、「IgM型HA抗体のキットが日本に初めて入ってきて早速君が残していた血清を測ってみると陽性で、A型急性肝炎の診断がつきこれまでに急性腎不全を合併した報告はないので論文を書いて持ってきてなさい」とのことでした。そこから忙しい毎日を過ごしながらも何とか時間のやり繰りをし、先生に何度も指導をいただき1年がかりで昭和56年に学会誌肝臓に「散发性A型肝炎に急性腎不全を併発した1症例」を掲載することができました。これが初めての論文ですが、重症肝炎における注意すべき合併症としてよく引用され今の自分の出発点です。

自分たちの仕事は常に「患者さんの思い」を込めて検討し、大事なことは後に続く患者さんのためにも「形に残す」ことです。医学中央雑誌に登録される「姫路赤十字病院誌」が益々充実することを心から祈念しています。

目 次

巻 頭 言

2017年 姫路赤十字病院誌 巻頭言…………… 副院長 奥新 浩晃

論 文

- 肝臓内科カンファレンス・ピックアップ…………… 内科 森井 和彦・他……(1)
- 当院における内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) の現状…………… 内科 筑木 隆雄・他……(13)
- 微小変化型ネフローゼ症候群を合併したIgG4 関連疾患の一例
…………… 内科 塚本 真弓・他……(18)
- 当院におけるドクターヘリ受け入れ状況についての報告
…………… 循環器内科 永野 優・他……(22)
- 多次手術を要した超低出生体重児消化管症例の3例…………… 小児外科 畠山 理・他……(25)
- 血管新生緑内障に対して眼内毛様体光凝固術を施行した1例…………… 眼科 塚本 真啓・他……(30)
- 関節リウマチ合併妊娠の3例…………… 整形外科 宮崎 亮・他……(33)
- 心臓手術後に両側声帯麻痺を合併した1症例…………… 麻酔科 増田恵里香・他……(35)
- 胃癌切除症例の病理組織診断報告に要する日数の
検討と改善について…………… 病理診断科 堀田真智子・他……(38)
- 内科救急症例ピックアップ2015…………… 臨床研修部 半澤 俊哉・他……(42)
- 肝臓内科クリニカルパスへのリハビリテーション導入後の
取り組みと効果…………… リハビリテーション技術課 大島 良太・他……(51)

第29回院内学術研究発表会 ……………(55)

投稿規定 ……………(65)

患者プライバシー保護に関する指針 ……………(67)

投稿論文チェックリスト ……………(68)

筆頭演者の利益相反自己申告書 ……………(69)

編集後記 ……………(70)